

第75回 通常総会議案書



日時：2024年6月20日(木) 14:00

会場：三井ガーデンホテル千葉



 千葉県生活協同組合連合会



千葉県生協連第75回通常総会議案書 目次

第1号議案 2023年度活動報告、決算書承認、剰余金処分案に関する件

Ⅰ. 2023年度活動のまとめ	1
Ⅱ. 2023年度決算報告、剰余金処分案	11
【1】事業報告書	11
【2】貸借対照表	15
【3】損益計算書	16
【4】重要な会計方針及び注記事項	17
【5】剰余金処分案	22
監査報告書	23

第2号議案 2024年度活動方針及び収支予算案承認に関する件

Ⅰ. 2024年度活動方針	24
Ⅱ. 2024年度収支予算	31

第3号議案 役員補充選任の件 32

第4号議案 定款変更の件 33

付属資料	35
地域生協の市町村別加入状況一覧	36
2023年度 会員生協概況表	40

I 2023年度活動のまとめ

1. はじめに（2023年度活動の特徴）

今年度の活動は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、ほぼ対面での開催に戻りました。活動が活発になるにつれ、県内ウクライナ避難者支援、県内フードバンク支援、千葉市との共催企画など、県内生協や地域の他団体との連携を意識した取り組みや学習の機会が増えた一年でもありました。また、令和5年台風13号の線状降水帯による浸水被害の際には、地域生協間で対策に関する情報共有の機会を設けるなど、連携や協力の形が徐々に進んでいます。元日に発生した令和6年能登半島地震では、県内生協も全国の生協とともに被災地域への支援に取り組んでいます。

そのような中で、5月に令和5年消費者支援功労者表彰として内閣府特命担当大臣表彰を、また10月には令和5年度消費生活協同組合（連合会）等厚生労働大臣賞を受賞しました。この事は、長年会員生協と共に、地域の社会課題の解決に向けて取り組んできた証との確信を持った出来事でした。

千葉県生協連では、持続可能な開発目標（SDGs）の解決につながることをめざし、第74回通常総会（2023年6月22日）で承認された方針のもと、活動を進めました。

2. 2023年度の活動について

方針に基づき、下記の課題に取り組みました。社会情勢に大きく影響される私たちの暮らしを守るため、足元にある様々な課題に真摯に向き合います。「コープSDGs行動宣言^{*1}」を遵守し、「ちばの生協」として持続可能な社会の実現に取り組んでいきます。

方針1：
会員生協とともに暮らしの願いを実現するため、SDGs達成をめざして社会的課題の解決に取り組みます。

(1) 会員生協の活動に共通する課題について、情報収集、学習や事例交流の場を設け、会員どうしが連携して取り組む機会を作ります。

① 地域・まちづくりに関する取り組み

- ・10月に「令和5年政策検討会」を開催し、「地域共生社会^{*2}」をテーマに、国が進める「重層的支援体制整備事業^{*3}」と松戸市の「多世代まるごと居場所づくり」（「まつどDEつながるステーション」）の事例を学びました。5生協49人が参加しました。



左：松戸市 総合政策部 地域共生課 主査 大和 望さん
右：パルシステム千葉 介護事業部長 木村 友秀さん

- ・地域やまちづくりの課題解決について学ぶため、地域・まちづくり委員会を開催しました。

5月に開催した第2回では、パルシステム千葉、コープみらい、生活クラブ生協の地域活動への助成金、ちば住宅コープの地域課題への支援活動について学習しました。また、10月開催の第3回では、防災と地域をテーマに、ジェンダー問題を視点に災害対策や災害時の対応について学習しました。

12月開催の第4回では、フードバンクちばを視察し、その運営や活動、県内フードバンクについて説明を受けました。

- ・千葉県の高齢者孤立化防止プロジェクト「SSK」（しない、させない、孤立化!）^{*4}に取り組み、地域生協の高齢者見守り活動事例を県に報告しました。

② 消費者問題に関する取り組み

- ・7月に第2回食・消費者委員会を開催し、「消費者基本計画^{*5}」「千葉県消費者基本計画」、また、全国及び千葉県の消費者被害の状況について学習しました。
- ・10月に千葉県主催令和5年度「消費者フォーラム&金融経済講演会」が開催され、会員生協も活動を紹介しました。
- ・11月に学習会「防ごう！子どもの事故～家庭に潜む危険を考える～」を千葉市と地域生協、淑徳大学との連携事業として開催しました。生活の場で発生する子どもの重傷事故をどのように防ぐかを学びました。参加者は22人でした。

講師：NPO 法人 Safe Kids Japan
理事 大野 美喜子さん



③ 食に関する取り組み

- ・4月に第1回食・消費者委員会を開催し、千葉県生協連が提出した「令和5年度千葉県食品衛生監視指導計画^{*6}」への意見に対する県の回答について、委員と確認しました。
- ・食・消費者委員会として8月には、厚生労働省の横浜検疫所輸入食品・検疫検査センターを見学し、国の輸入食品の安全性確保の現状について学びました。
- ・12月に、第4回食・消費者委員会を開催し、食品衛生法、食品安全の考え方や表示に関する学習会を開催しました。
- ・2024年1月に千葉市、2月に県より、各自治体の作成した「令和6年度食品衛生監視指導計画」について、食・消費者委員会などの場で、説明いただき懇談しました。
- ・2024年3月に食料・農業・環境を考えるフォーラム主催「食料・農業・環境を考えるセミナー」に参加し、日本の食料安全保障について学習しました。

④ 防災、減災に関する取り組み

- ・大規模災害対策協議会を年4回開催しました。

5月の第1回では、千葉県より「災害時の緊急物資等に係る備蓄・物流の基本方針」について説明を受けた後、懇談しました。また、9月の第2回では「災害に備えた備品・備蓄とトイレの考え方」について、オンラインで学習しました。

11月の第3回では、日本赤十字社千葉県支部との活動交流として、日本赤十字社千葉県支部赤十字防災セミナーのカリキュラム紹介や、救護倉庫の見学をおこないました。

2024年3月の第4回は旭市防災センターを見学し、東日本大震災、能登半島地震について学習、意見交換しました。



旭市防災資料館 視察

- 2024年3月に、千葉県生協連の災害対応手順書に基づく図上訓練を、会員生協と県連事務局でおこないました。
- 9月に開催された第44回九都県市合同防災訓練^{*7}（千葉会場）に参加協力しました。
- 毎月、5会員生協と千葉県生協連の間で、災害時MCA無線通信訓練をおこないました。

⑤ 平和に関する取り組み

- 7月に举行された第45回原爆死没者慰霊式典の実行委員として運営協力し、式典へ出席しました。
- 8月に「子どもたちに平和な未来を2023」を開催しました。ウクライナから避難している小学生と日本人の小学生が交流し、ウクライナでの体験をもとに平和について考えました。当日は、小学生26人と、ボランティアとして千葉大学の学生が参加しました。



講師：バンコーヴ・エブゲンさんとお母さん

- 2024年2月に憲法学習会「四谷姉妹と考える憲法 あなたはわたしをどう思う？」を開催し、22人が参加しました。基本的人権を切り口に、憲法の概要やその大切さなどを学びました。

⑥ 人権に関する取り組み

- 7月に県行政と共催で「令和5年度消費生活協同組合役員研修会」を開催しました。今回は、「子どもを虐待から守るために」と題し、虐待を防止するために何ができるかを考えました。57人の参加がありました。



講師：東京経営短期大学
こども教育学科特任教授
小木曾 宏先生

- 千葉県男女共同参画推進連携会議に参画し、12月に学習会「男の家事が社会を救う！～笑って考える男女共同参画～」に参加協力しました。

⑦ 環境、エネルギー問題に関する取り組み

- 10月の第3回食・消費者委員会では「再生可能エネルギーと電気料金について」と題して、最近のエネルギー価格と電力需給について学習しました。



講師：
前内閣府消費者委員会委員
消費生活アドバイザー
大石美奈子さん

- ・千葉県生協連が事務局を担う消費者団体千葉県連絡会において、8月に幹事総会学習会「電力料金の仕組みから電力エネルギーについて考える」を開催しました。また、11月には食品残渣を利用したバイオマス発電所^{※8}「バイオエナジー株式会社城南島工場」を視察しました。
- ・10月に開催された「第28回エコメッセ2023 in ちば」に、行政や他団体・企業と共に協力しました。「PEACE：身近な暮らしからもう一步！」をテーマに、会場展示とオンライン展示のハイブリッド開催となりました。
- ・2024年2月に消費者団体千葉県連絡会主催第48回千葉県消費者大会（後援 千葉県、千葉市）を開催しました。「待ったなし！温暖化と再生可能エネルギー^{※9}」と題し、CO₂削減と再生可能エネルギーの必要性について学習しました。37人が参加しました。
- ・千葉県環境財団「ちば環境再生推進委員会」の委員として、「ちば環境再生基金」からの県内の環境団体への助成活動に取り組みました。

(2) 会員生協への支援

- ・5月に「学習会とワークショップで理解を深める『Z世代^{※10}の傾向』」を開催し、20人の参加者がありました。Z世代と呼ばれる若者の特徴について、当事者から話を聞きました。当日参加できなかった人にも後日配信をおこないました。
- ・10月に開催した第1回職域生協部会では「職場におけるダイバーシティ^{※11}推進～すべての人が働きやすい職場づくりをめざして～」と題して、多様性を認め合う働き方について学習しました。

- ・10月に地域生協部会として、9月に発生した大雨被害への配達対応に関する懇談会をおこないました。また、2024年1月にはパルシステム千葉松戸センターの先進事例を見学し、懇談をおこないました。
- ・11月に4都県（東京、埼玉、神奈川、千葉）生協連主催の学習会「どうする若者、どうする私たち～若者との対話から、未来を考える～」を、会場参加とオンライン参加によるハイブリッド方式で開催しました。新たな活動に取り組む若者のパネルディスカッションから、活動の持続性や継承などについて考えました。



左：NO YOUTH NO JAPAN
代表 能條 桃子さん
右：NPO 法人 ORIGAMI
理事長 都築 則彦さん
下：カクワカ広島共同代表
高橋 悠太さん



協同組合連合会



- ・2024年3月に開催した第2回職域生協部会では、千葉商科大学生協を訪問し、大学直営の学食や、大学が学びの場の提供として起業支援する「学生ベンチャー食堂」などを視察しました。

方針2：
安心して暮らし続けられる地域社会づくりのため、自治体や諸団体との連携を大切にしながら協同組合としての役割を發揮します。

(1) 県行政・県議会各会派関係

- 7月と11月に「千葉県環境生活部と千葉県生協連役員との懇談会」を開催しました。7月は生活クラブ生協のローカルSDGs^{※12}の実践の場の一つである「虹と風のファーム」と、自然の中での活動交流の場であるコープみらい「八街の森」を視察しました。11月は会員生協の取り組み状況を紹介し、交流しました。



生活クラブ生協「虹と風のファーム」視察

- 7月に県行政と共催で「消費生活協同組合役員研修会」を開催し、57人が参加しました。県からは「生協運営上の留意点について」を説明いただきました。
- 9月および2024年2月に「広報担当者・消費者行政連絡会」を開催し、県行政と会員生協広報担当者が参加しました。会員生協の活動や広報事例を紹介し、消費者被害防止のための啓発記事掲載への協力などについて話し合いました。
- 9月には「千葉県多様性」が尊重され誰もが活躍できる社会の形成の推進に関する条例」の骨子案に対する意見を、千葉県に提

出しました。

- 2024年1月に千葉市、2月には千葉県の「令和6年度食品衛生監視指導計画」に対し提言をおこないました。
- 2024年2月に、「第4次千葉県消費生活基本計画」へのパブリックコメントに意見を提出しました。
- 千葉県生協連として、千葉県の審議会委員に専任され、県の施策決定に参画しました。

(2) 協同組合関係

- 「千葉県協同組合提携推進協議会」に参画し、農協、漁協、森林組合と連携し、県民にむけて協同組合の価値をアピールしました。
- 農協、漁協、森林組合、生協、労働組合、消費者団体などが集う「食料・農業・環境を考えるフォーラム」に参画しました。
- 7月に第28回千葉県協同組合間提携女性交流会が開催されました。千葉県漁業協同組合の海苔加工工場の視察ののち、農協、漁協、生協の女性役員がそれぞれの活動について交流しました。

(3) 友誼団体、関係諸団体

- 県内の諸団体とともに「ウクライナ支援『お茶しませんか』プロジェクト」^{※13}を立ち上げ、ウクライナから避難されている方達に、定期的な交流の場を提供しました。



ウクライナ支援「お茶しませんか」プロジェクト

- ・ 9月から11月の期間に、会員生協とともに、「フードバンクと千葉県内生協連携キャンペーン」を開催しました。フードドライブ^{※14}とともに夏休み宿題応援企画子ども記者などの取り組みをおこないました。
- ・ 学習や懇談を通じ、今年度も引き続き日本赤十字社千葉県支部と連携協力しました。
- ・ 千葉県ユニセフ協会の活動に対し、引き続き支援、協力しました。
- ・ 経済的、環境的に厳しい状況に置かれている子どもたちを支援する「特定非営利活動法人ちばこどもおうえんだん」の活動に、引き続き協力しました。
- ・ 県内の諸団体が集う「日本政府に核兵器禁止条約^{※15}の署名・批准を求める千葉の会」の活動に協力しました。
- ・ 千葉県内の被爆者団体「千葉県原爆被爆者友愛会」の活動に対し、継続して協力、支援しました。
- ・ 県内の関係諸団体の取り組む事業や企画などの内、その内容や目的に賛同できるものについて後援しました。

方針3:

持続可能な社会の実現に向け、地域で活動する消費者団体を支援します。

- ・ 安全安心で持続可能な消費者市民社会を構築するため「消費者団体千葉県連絡会」の事務局として、会員団体とともにくらしの様々な課題について学習や交流をおこないました。



消費者団体千葉県連絡会 2023年度幹事総会学習会
「電気料金の仕組みから、電力エネルギーについて考える」

- ・ 悪質事業者への是正を求める活動をおこなう適格消費者団体^{※16}「特定非営利活動法人消費者市民サポートちば」の事務局を担い、支援しました。申し入れ活動の他、地域での学習会、啓発活動も開催しました。
- ・ 県内どこでも等しく安全安心な暮らしが送れるよう、インフラとしての消費者行政を充実させることを目的として活動する「消費者行政充実ネットちば」の取り組みに参画しました。

方針4：

地域の中での生協の取り組みに理解を深めていただけるよう、様々な場面、年代、団体に向けた情報発信に努めます。

(1) 県行政・県議会各会派

- ・ 県行政関連部局と委員会や部会などで懇談を重ね、暮らしに関わる諸課題について協力関係を深めました。
- ・ 8月には公明党千葉県本部政策要望懇談会に出席し、県行政における諸課題についての千葉県生協連の要望や考えを説明し、懇談しました。

(2) 協同組合関係

- ・ 千葉大学で開校された日本協同組合連携機構(JCA)^{*17}が主催する「国際協同組合年記念千葉大学公開寄附講座^{*18}」の開催に協力しました。理念や活動を様々な協同組合から紹介することを目的にしており、会員生協に講師をお願いしました。



国際協同組合年記念千葉大学公開寄附講座

(3) 県内諸団体との関係、その他

- ・ 毎月の広報誌や半期ごとの活動をまとめたフォトピックスを作成し、千葉県生協連の取り組みを紹介しました。
- ・ 千葉日報社の新春特集「千葉のトップが語

る」の中で、千葉県内の生協の事業や活動について広く県民に紹介しました。

- ・ 4月に、より見やすくなることを目的として、ホームページをリニューアルしました。

方針5：

2030年ビジョン「つながる力で未来をつくる－CO・OP2030－」のもと、日本生協連中央地連管内の都県連との交流や情報交換をすすめ、結びつきを強めます。

- ・ 日本生協連 中央地連の会議に参加し、他県の生協、生協連との交流を深めました。
- ・ 東京都、埼玉県、神奈川県、茨城県、群馬県の各県連との連携をより一層深めました。

本議案における、議案の本旨に反しない範囲での字句の修正は、理事会にご一任ください。

2023年度 活動のまとめフォトピックス

2023年6月22日、千葉県生協連第74回通常総会が開催され、2023年度の5つの方針が承認されました。主な活動をご紹介します。

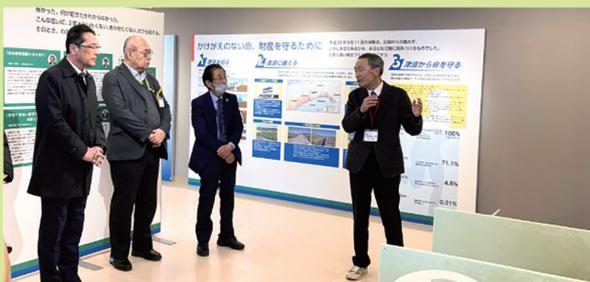


令和5年度政策検討会「私たちの考える地域共生社会とは？～重層的支援体制整備事業を通して～」

講師 松戸市 大和望さん
パルシステム千葉 木村友秀さん



方針1：
会員生協とともに暮らしの願いを実現するため、SDGs達成をめざして社会的課題に取り組みます。



第4回大規模対策協議会
旭市防災資料館 視察



学習会「防ごう！子どもの事故
～家庭に潜む危険を考える～」

講師 safety kids Japan 理事 大野美喜子さん



令和5年度消費生活協同組合役員研修会
「子どもを虐待から守るために～」

講師 東京経営短期大学 小木曾宏先生



子どもたちに平和な未来を2023
「ほくはジェニャ11歳 一緒に平和の事を考えよう！」

講師 バンコヴ・エブゲンさん



方針2：
 安心して暮らし続けられる地域社会づくりのため、自治体や諸団体との連携を大切にしながら協働組合としての役割を発揮します。



ウクライナ避難者支援
 「お茶しませんか」プロジェクト



千葉県環境生活部と千葉県生協連役員との懇談会
 生活クラブ生協 虹と風のファーム
 コープみらい 八街の森 視察



方針3：
 持続可能な社会の実現に向け、地域で活動する消費者団体を支援します。



適格消費者団体
 特定非営利活動法人 消費者市民サポートちば
 靈感商法・悪質商法被害防止啓発活動



方針4：
 地域の中での生協の取り組みに理解を深めていただけるよう、様々な場面、年代、団体に向けた情報発信に努めます。



国際協働組合年記念
 千葉大学公開寄付講座



方針5：
 2030年ビジョン「つながる力で未来をつくる-CO・OP2023-」のもと、日本生協連 中央地連管内の都県連との交流や情報交換をすすめて、結びつきを強めます。



東京・埼玉・千葉・神奈川 4都県生協連共催
 「どうする若者、どうする私たち
 ～若者との対話から、未来を考える～」



内閣府消費者庁・厚生労働省 表彰

2023年度は、国より2つの表彰を受けました。
様々な地域課題などに、会員生協とともに継続して
取り組んできたことが評価されました。

令和5年度消費者支援功労者表彰内閣府特命担当大臣表彰



令和5年度消費生活協同組合(連合会) 等に対する厚生労働大臣表彰



II 2023年度決算報告、剰余金処分案に関する件

【1】事業報告書

2024年3月31日

1. 連合会の事業活動の概況に関する事項

(1) 2023年度末における事業活動の経過及びその成果

①事業の経過およびその成果

第1号議案に記載した「2023年度活動報告」のとおりです。

②対処すべき重要な課題

第2号議案に記載した「2024年度活動方針」のとおりです。

(2) 2023年度末における会員の内容

項目	期首	増	減	期末
地域生協	4	0	0	4
職域生協	1	0	0	1
大学生協	3	0	0	3
学校生協	1	0	0	1
住宅生協	1	0	0	1
共済生協	1	0	0	1
高齢者生協	1	0	0	1
合計	12	0	0	12

準会員の内容

項目	期首	増	減	期末
地域生協	2	0	0	2

(3) 直前3事業年度の財産及び損益の概況

(単位：円)

項目	2020年度	2021年度	2022年度	本年度
会員数	12	12	12	12
出資金額	2,160,000	2,160,000	2,160,000	2,160,000
事業収入	47,107,500	47,107,200	47,573,400	47,925,000
事業経費	43,638,891	44,057,533	45,227,400	46,888,979
経常剰余金	3,562,297	3,140,538	2,549,397	1,061,511
総資産	45,144,519	47,729,692	50,232,413	52,389,635
純資産	43,179,641	46,250,175	48,729,572	49,721,083

(4) 教育事業等の状況

- ①当期に繰り越された教育事業等繰越金 …………… 500,000円
- ②教育事業等要した費用の内訳
- 生協法51条の4第5項(教育事業等繰越金)に要した費用の内訳
- ・教育文化費 会員組合員学習会等 …………… 588,820円
 - ・調査研究費 役員研修会、研修費用、書籍購入等 … 257,845円

2. 連合会の運営組織の状況に関する事項**(1) 総会の決議**

- ①総会開催日 2023年6月22日
- ②代議員数 54名
- ③出席代議員数 54名(本人出席33名、書面出席21名)
- ④重要な議事及び議決事項
- 第1号議案 2022年度活動、決算書承認、剰余金処分案に関する件
- 第2号議案 2023年度活動方針及び収支予算案承認に関する件
- 第3号議案 役員選任の件

(2) 会員に関する事項

(単位：円)

区分	会員数	口数	出資金総額
当期首現在	12	216	2,160,000
当期中増加	0	0	0
当期中減少	0	0	0
当期末現在	12	216	2,160,000

(3) 役員に関する事項

役員一覧表 (2024年3月31日現在)

役員名	氏名	就任年月	所属生協名
会長理事	渡邊 英里子	2019年 6月	生活協同組合コープみらい 執行役員 千葉県本部長
副会長理事	新村 里志	2017年 6月	生活協同組合パルシステム千葉 専務理事
専務理事	尼崎 英之	2023年 6月	常勤
理事	高橋 由美子	2023年 6月	生活協同組合パルシステム千葉 理事長
理事	重田 千鶴子	2023年 6月	生活協同組合コープみらい 理事
理事	塙 智	2019年 6月	生活クラブ生活協同組合 専務理事
理事	岩崎 秀人	2011年 6月	なのはな生活協同組合 専務理事
理事	鶴岡 隆幸	2019年 6月	千葉県庁生活協同組合 専務理事
理事	石原 裕	2021年 6月	千葉大学生生活協同組合 専務理事
理事	筒井 道広	2023年 6月	千葉県学校生活協同組合 専務理事
理事	杉浦 高志	2020年 6月	千葉県勤労者共済生活協同組合 専務理事
理事	大見 卓央	2023年 6月	生活協同組合ちば住宅コープ 専務理事
監事	有吉 直樹	2020年 6月	東邦大学消費生活協同組合 専務理事
監事	渡邊 秀樹	2023年12月	千葉県高齢者生活協同組合 理事長
監事	稲生 修	2023年 6月	生活協同組合コープみらい 常勤監事

(4) 職員の数

男	女	計
2	2	4

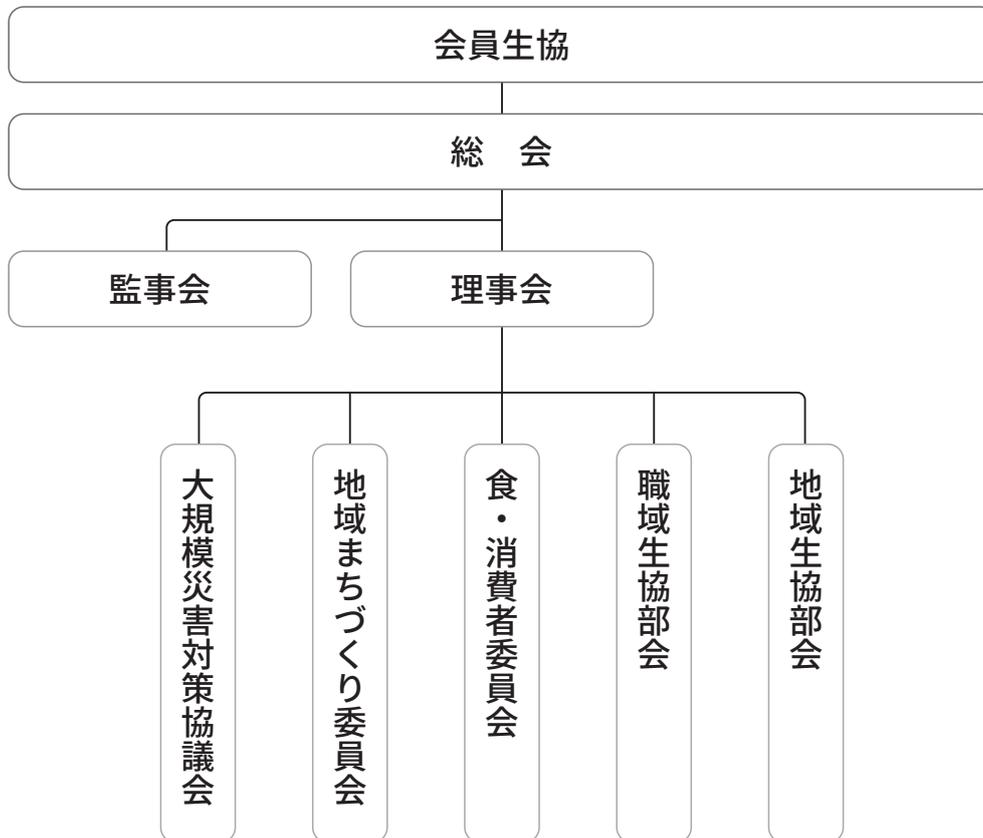
※女性2名は嘱託職員

(5) 主たる事務所の所在地等

千葉市中央区中央4-13-10 千葉県教育会館5F

(6) 業務運営の組織に関する事項

① 運営組織 (2024年3月31日現在)



3. その他連合会の状況に関する重要な事項

該当事項ありません

【2】貸借対照表

(2024年3月31日現在)

(単位：円)

科目	金額		科目	金額	
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	50,514,602		流動負債	2,668,552	
現金		90,003	未払費用		2,569,685
普通預金		18,424,584	預り金		28,867
定期預金		32,000,015	未払税金		70,000
立替金		0			
			固定負債		0
			負債合計	2,668,552	0
固定資産	1,875,033		(純資産の部)		
有形固定資産	12,533		会員資本	2,160,000	
器具備品		12,533	出資金		2,160,000
			剰余金	47,561,083	
その他固定資産	1,862,500		法定準備金		3,630,000
関係団体出資金		130,000	災害対策等積立金		35,000,000
差入保証金		1,732,500	記念事業積立金		5,000,000
			当期末処分剰余金		3,931,083
			(うち当期剰余金)		(991,511)
			純資産合計	49,721,083	
資産合計	52,389,635		負債・純資産合計	52,389,635	

【3】損益計算書

(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位：円)

科目	金額	
I. 事業収入		
会費収入		47,925,000
II. 事業経費		
人件費	30,710,807	
物件費	16,178,172	46,888,979
事業剰余金		1,036,021
III. 事業外収入		
受取利息・配当金	7,848	
雑収入	18,642	26,490
IV. 事業外費用		
雑損失		1,000
経常剰余金		1,061,511
V. 特別損失		
当期税引前剰余金		1,061,511
法人税等		70,000
当期剰余金		991,511
当期首繰越剰余金		2,939,572
当期未処分剰余金		3,931,083

【4】重要な会計方針及び注記事項

1. 重要な会計方針

(1) 有形固定資産の減価償却方法

- ・ 法人税法に規定する方法（旧定率法を採用しています）
- ・ 2012年4月以降取得した備品は定率法を採用しています。

(2) 消費税の会計処理は、税込処理を採用しています。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産にかかる減価償却累計額

- ・ 器具備品 取得価格 4,031,826円 減価償却累計額 4,019,293円

(2) 賞与引当金・退職給付引当金の引当該当はありません。

3. 損益計算書に関する注記

(1) 法人税等

- ・ 法人税等には法人県民税と法人市民税を計上しています。
（当期の法人税・法人事業税の計上はありません）

(2) 教育事業等繰越金

- ・ 当期首繰越剰余金2,939,572円には、剰余金処分により繰越した教育事業等繰越金500,000円が含まれています。

4. 剰余金に関する注記

- ・ 次期繰越剰余金には、生協法第51条の4第4項に規定する教育事業等繰越金として500,000円が含まれています。

【決算関係書類附属明細書】

2023年3月31日

(1) 会員資本の明細

(単位：円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
会員出資金	2,160,000	0	0	2,160,000
法定準備金	3,630,000	0	0	3,630,000
災害対策等積立金	33,000,000	2,000,000	0	35,000,000
記念事業積立金	5,000,000	0	0	5,000,000
当期末処分剰余金	4,939,572	991,511	2,000,000	3,931,083
合計	48,729,572	2,991,511	2,000,000	49,721,083

(2) 借入金の明細

・該当事項ありません

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿額
有形資産	器具備品	16,709	0	4,176	4,176	12,533
その他資産	差入保証金	1,732,500	0	0		1,732,500
	関係団体出資金	200,000	0	70,000		130,000
合計		1,949,209	0	74,176	4,176	1,875,033

(4) 関係団体等出資金の明細

(単位：円)

出資先	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
日本生協連	30,000	0	0	30,000
賀川記念教育基金	70,000	0	70,000	0
中央労働金庫	100,000	0	0	100,000
合計	200,000	0	70,000	130,000

(5) 事業経費の明細

(単位：円)

科目	金額
役員報酬	9,624,003
職員給与	14,781,190
厚生福利費	5,008,508
退職給付費用	1,297,106
人件費計	30,710,807
通信交通費	924,913
調査研究費	257,845
広報費	1,061,150
会議費	2,368,527
賃借料	5,027,618
渉外費	493,534
教育文化費	588,820
消耗品費	754,677
諸会費	1,601,025
水道光熱費	299,826
減価償却費	4,176
雑費	228,736
退職金	0
寄附金	196,033
租税公課	0
業務委託費	2,371,292
物件費計	16,178,172
事業経費合計	46,888,979

(6) その他重要な事項

① 主要な事業に係る資産の内容

ア. 現金預金明細

(単位：円)

区 分	期首残高	期末残高	当期増減額
現 金	156,128	90,003	-66,125
普通預金	16,127,061	18,424,584	2,297,523
(中央労金千葉支店)	3,821,036	8,645,899	4,824,863
(千葉銀行長洲支店)	12,191,523	9,664,978	-2,526,545
(京葉銀行本店)	114,502	113,707	-795
定期預金	32,000,015	32,000,015	0
(中央労金千葉支店)	15,000,000	15,000,000	0
(千葉銀行長洲支店)	12,000,015	12,000,015	0
(京葉銀行本店)	5,000,000	5,000,000	0
合 計	48,283,204	50,514,602	2,231,398

イ. 有価証券明細書

- ・ 関係団体出資証券は(4)参照

ウ. 差入保証金明細

(単位：円)

差入先	金 額
千葉県教育会館維持財団	1,732,500

エ. その他資産明細

- ・ 該当事項ありません

②主要な事業に係る負債の内容

ア. 未払費用明細

(単位：円)

内 訳	金額	合計
コープみらい	1,583,364	
NTT ファイナンス (株)	14,777	
キャノンマーケティング (株)	29,805	
ヤマト運輸 (株)	1,540	
ニフティ (株)	11,330	
千葉グローブシップ (株)	20,900	
(株) コスモス	127,040	
(株) 正文社	51,431	
日本通信機 (株)	155,650	
(株) システムクリエーション	11,000	
令和6年3月分社会保険料	133,540	
千葉労働局 (令和5年度分)	310	
未払給与	428,998	2,569,685

イ. 預り金明細

(単位：円)

内 訳	金額	合計
源泉所得税2023年1月～3月分	15,967	
住民税 2023年3月分	12,900	28,867

ウ. 未払法人税等の明細

(単位：円)

内 訳	金額	合計
未払県民税	20,000	
未払市民税	50,000	70,000

【5】剰余金処分案

2024年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額
I. 当期末処分剰余金	<u>3,931,083</u>
II. 剰余金処分額 災害対策等積立金	<u>2,000,000</u>
III. 次期繰越剰余金	<u><u>1,931,083</u></u>

以上のとおり提案いたします。

<剰余金処分案について>

I. 剰余金処分額

災害対策等積立金は、大規模災害等により千葉県生協連の事業活動により大きな災害が出た場合の事業継続費用や被災地の復興支援費用として今期は2,000,000円積み立てます。

II. 次期繰越剰余金

生協法第51条の4で定められている教育事業等繰越金は、当期剰余金の5%以上を次期繰越剰余金に含めて繰越します。今期の教育文化事業繰越金は500,000円です。

千葉県生活協同組合連合会
会長理事 渡邊 英里子

監 査 報 告 書

私たち監事は、2023年4月1日から2024年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、当連合会の監事監査規則に基づいて、他の監事と意思疎通及び情報の交換を図るほか、監査方針、監査計画に従い、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、事務所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告書及び付属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行ない、当該事業年度に係る決算関係書類（貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案）及びその付属明細書について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告書等の監査結果

- ① 事業報告書及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 決算関係書類及びその付属明細書の監査結果

決算関係書類（剰余金処分案を除く）及びその付属明細書は、連合会の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) 剰余金処分案の監査結果

剰余金処分案は法令及び定款に適合し、かつ、連合会財産の状況その他の事情に照らして指摘すべき事項は認められません。

2024年4月25日

千葉県生活協同組合連合会

監事

有吉直樹 

監事

渡邊秀樹 

監事

柏生浩 

I 2024年度活動方針**1. 2024年度くらしを取り巻く情勢**

- (1) 全国的にも南海トラフ地震^{*19}、首都直下地震など、巨大地震のリスクが高まっています。2024年元旦に発生した能登半島地震は、阪神・淡路大震災を引き起こした地震に匹敵する地震とそれに伴う津波により、石川、富山、新潟、福井、長野、岐阜の6県に、多くの被害が発生しました。全国の生協からも人的援助や義援金など、多数の支援が寄せられています。
- (2) 2023年の世界の平均気温は、観測史上最も高くなりました。気象庁は2023年の日本の年平均気温および日本近海の平均海面水温は、いずれも統計開始以来、最も高い値になったと発表しました。今年も全国各地で記録的な大雨とそれに伴う災害が多発しました。
- (3) 輸入原材料や原油価格の高騰、円安の影響などによる、記録的インフレや生活必需品の価格高騰が続いています。そのため、現金給与総額は23か月連続でプラス（11月時点）でしたが、実質賃金は20か月連続のマイナスとなり、賃金の伸びが物価上昇分に追いつきません。また、2023年度の国民所得に占める税や社会保障の負担割合も46.8%と、高くなっています。
- (4) 貧困・格差も進んでいます。2022年度

の国民生活基礎調査によると「相対的貧困率^{*20}」は全体から見て15.4%、「子どもの貧困率」（17歳以下）は11.5%でした。「子どもがいる現役世帯」（世帯主が18歳以上65歳未満で子どもがいる世帯）は全体の10.6%、そのうち「大人が一人世帯」は44.5%です。「母子世帯」の約7割、「児童のいる世帯」の半数が「生活が苦しい」と答えています。

- (5) 少子高齢化、人口減少が加速しています。2020年からの推計によると、現在総人口は1億2494万7千人、12年連続で減少しています。前回推計より出生率は1.36に低下しましたが、平均寿命が延伸し、外国人の入国超過数の増加により、人口減少は鈍化しています。諸外国と比べ、15歳未満人口割合が最も低く、65歳以上人口割合は最も高い水準となっており、老年化指数^{*21}が200を超える唯一の国となっています。
- (6) 人口減少が人手不足となって、生活インフラの維持に大きく影を落としています。慢性的な人手不足と2024年から始まる働き方改革による物流の問題も心配されています。また中山間地域や大都市中心部の買い物などの生活サービス維持、地域コミュニティでの高齢者支援なども難しくなっています。半面、人手不足から店舗などでのキャッシュレス決済^{*22}の利用が大きく伸長するなど、くらしの様々な場面でDX^{*23}が進む要因にもなっています。

(7) ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルのガザ衝突、中国の海洋進出など、世界では政治的、軍事的緊張が高まっています。そのような中、5月に広島で開催されたG7サミットで採択された「核軍縮に関する広島ビジョン」は、核兵器の抑止力を容認するものでした。「平和首長会議^{*24}」は日本政府に対し、11月開催の核兵器禁止条約第2回締約国会議へオブザーバー参加するよう要請しましたが、実現しませんでした。

(8) 8月に公表された2022年度の日本の食料自給率は、カロリーベースで38%、生産額ベースで58%となりました。食料を輸入に頼る状況下、世界情勢の変化に伴い、食料やエネルギーに関する安全保障の強化が課題となっています。2024年2月に改正案が閣議決定された「食料・農業・農村基本法^{*25}」に対し、日本生協連は生産者をはじめ多様なパートナーとの協力を通じて消費者の願いを実現してきた生協として、意見を提出しました。

(9) 日本は、世界の23年度SDGsランキングでは、2022年度より順位を下げ21位でした。また、現在SDGsの課題でもある、企業における人権や環境への対応が注視されています。人権尊重について継続して取り組む「人権デューデリジェンス^{*26}」が強く求められています。

(10) 国際協同組合同盟(ICA)^{*27}は2021年12月の第33回世界協同組合大会(ICAソウル大会)において、「協同組合のアイデンティティ^{*28}」について①学び理解し、②組織・事業・活動に活かすとともに、③検証し必要があれば改正することを呼び掛けました。生活協同

組合では、日本生協連が中心となり、全国の生協からの意見を集約し、2024年1月にICAとJCAに意見書を提出しました。また、2023年11月の国連総会において、2025年を2回目の「国際協同年」とすることが宣言されました。

2. 2024年度活動方針

世界的なインフレやエネルギー危機、食料危機、気候変動や自然災害、感染症のリスクなど複合的な危機の中、地域でくらす人々が誰ひとり取り残されることなく、生涯にわたって心ゆたかな暮らしを実現するために、生協の役割はますます重要です。「コープSDGs行動宣言」を掲げ、千葉県の生協が連携して社会をリードしながら、SDGsの実現に向け取り組みを進めてゆきます。

重点課題1

会員生協とともに、安心して暮らし続けられる社会を実現するため、SDGs達成をめざして社会的課題の解決に取り組みます。

(1) 会員生協の活動に共通する課題について、情報収集、学習や事例交流の場を設け、会員どうしが連携して取り組む機会を作ります。

① 地域・まちづくりに関する取り組み

- ・地域の課題解決をめざし、会員生協の活動事例共有をはじめ、様々な団体の取り組みを学びながら、生協の役割について考えます。
- ・「千葉県高齢者を地域で支えるネットワーク会議^{*29}」の一員として、高齢者が孤立することなく安心して暮らせるよう「SSK(しない、させない、孤立化!）」に引き続き

取り組みます。

② 消費者問題に関する取り組み

- ・ 新たな技術や契約、事業などに伴う消費者課題や被害について、情報収集に努めます。また、自立した消費者としての判断力を養うための学習、交流の場を拡げます。
- ・ 子ども、高齢者の日常生活の重大事故について、会員生協と共に未然防止のための啓発や学習の機会を設けます。
- ・ 行政と会員生協が連携した消費者被害の啓発活動に取り組みます。千葉県が主催する「消費者フォーラム&金融経済講演会」の取り組みに協力します。

③ 食に関する取り組み

- ・ 行政とのリスクコミュニケーション^{※30}として、千葉県及び千葉市食品安全監視指導計画について学ぶ機会を設け、千葉県生協連として提言をおこないます。
- ・ エシカル消費^{※31}、健康、食品ロスなど、食をめぐる様々な実態、現在の課題について、SDGsの観点から学習や交流を進めます。
- ・ 食の安全に関する科学的知見、行政の動向など最新情報の提供と、学習と交流の機会を設けます。

④ 防災、減災に関する取り組み

- ・ 災害発生時対応マニュアルや手順書をもとに速やかに対応できるよう、行政や会員生協との共有化を深めます。
- ・ 九都県市合同防災訓練への参加、また千葉県で活動する災害ボランティアセンターとの情報共有とネットワークの構築を進めます。
- ・ 近い将来に起こりうる地震災害などに対応するため、次世代に防災・減災の備えの重

要性を伝える学習を継続します。

⑤ 憲法、平和に関する取り組み

- ・ 暮らしの基本となる憲法や平和について、継続して学習に取り組みます。
- ・ 核兵器不拡散条約 (NPT) 再検討会議^{※32}後の動向、核兵器禁止条約の現在の締結国の状況などに注視し、引き続き、被爆者団体への支援活動を推進します。
- ・ 被爆・戦争体験を次世代に継承し、核兵器廃絶など平和について考える機会として「子どもたちに平和な未来を2024」を開催します。

⑥ 人権に関する取り組み

- ・ 子どもの貧困・虐待、ヤングケアラー^{※33}といった子どもの問題について考えます。
- ・ 男女共同参画やジェンダー^{※34}問題、LGBTQ^{※35}など、人権問題に関わる情報を収集し、情報共有を図ります。

⑦ 環境、エネルギー問題に関する取り組み

- ・ 千葉県でおこなわれている再生可能エネルギー事業などの施策について、情報収集と学習を進めます。
- ・ 容器包装等のリサイクルや食品ロス削減などの実践例を学び、くらしや事業活動に活かします。
- ・ 会員生協が地域で取り組む環境活動についての交流や学習をおこないます。
- ・ 「エコメッセ・ちば2024 (環境見本市)」に賛同し、行政や他団体・企業と連携しながら支援します。

⑧ 会員生協への支援

- ・ 会員生協の事業に関連する情報や、新しい

技術を活用した生協や企業の取り組み事例などについて情報収集や学習の機会を設けます。

- ・ 事業活動の中での人権尊重について、様々な角度から考え、学ぶ機会をつくります。
- ・ 生協活動の継承のため、次世代を担う若者との交流や連携を図り、新しい取り組みを検討します。

重点課題2

誰ひとり取り残されない地域社会づくりのため、自治体や諸団体との連携を大切にしながら協同組合としての役割を發揮します。

(1) 自治体に関する取り組み

- ① 県行政との懇談会をおこない、生協の事業活動の取り組みへの理解を拡げます。
- ② 県行政と共催で「消費生活協同組合役員研修会」を開催し、暮らしに関連する県の施策、法令関係について学びます。
- ③ 県行政との協力連携を進め、会員生協の広報を活用し、消費者被害の減少・防止のための啓発活動、消費者のくらしと安全に関わる情報提供の取り組みに協力します。
- ④ 地域づくり、食や環境など、生協の活動に関わる各分野における県行政との懇談・学習の場を設け、施策への要望等を伝えます。
- ⑤ 委員として参画する県行政の審議会等への対応を進めます。

(2) 協同組合関係に関する取り組み

- ① 生協法をはじめ、関連する法制度の動向に関する情報提供、国への働きかけなど、必要な取り組みを日本生協連とともに進めます。
- ② 中央地連管内の生協連、4都県（東京、埼

玉、神奈川、千葉）生協連間の連携をさらに強めます。

- ③ 県内生協とともに「協同組合のアイデンティティ」について学び、これからの協同組合や生協について考えます。
- ④ 千葉県協同組合提携推進協議会^{※36}を通じ、会員生協の職員とともに、千葉県の農業・漁業・林業等の現状を学ぶ機会を設けます。
- ⑤ 「千葉県協同組合提携女性交流会」を開催し、農協、漁協との交流、理解を深めます。
- ⑥ 「食料・農業・環境を考える千葉県民フォーラム」に参画し、セミナー開催に協力します。

(3) 友誼団体、関係諸団体に関する取り組み

- ① 社会福祉協議会、NPO 法人、大学、企業、他団体の取り組みを学び、地域課題の解決に関する交流や学習を進めます。
- ② 行政、日本生協連、会員生協と連携し、災害時には千葉県生協連が窓口となり対応します。また協定を締結している千葉県、日本赤十字社千葉県支部との懇談を継続します。
- ③ 災害時の支援活動として災害支援ネットワークちば (CVOAD)^{※37}との連携を進めます。
- ④ 生活に困窮する人々への支援のため、県内フードバンクと県内生協で、フードドライブの取り組みを継続しておこないます。

重点課題3

消費者市民社会の実現に向け、地域で活動する消費者団体に協力し、支援します。

- (1) 県内消費者団体に構成する「消費者団体千葉県連絡会」の活動に協力し、「千葉県消費者大会」を通じて他団体とともに学習を重ねます。
- (2) 消費者被害防止に取り組む適格消費者団

体「特定非営利活動法人消費者市民サポートちば」の事務局機能を支援します。また、事業者への不当な契約条項や広告表示などに対する差し止め請求といった被害防止の取り組みを支援します。

- (3) 県内全自治体での消費者安全確保地域協議会、見守りネットワーク^{※38}設置に向け、「消費者行政充実ネットちば」の活動に協力します。

重点課題4

生協の取り組みに共感と理解を深めていただけるよう、様々な場面、年代、団体に向けた情報発信に努めます。

- (1) 会報、広報誌などを通じて、生協の活動を理解していただけるよう、働きかけます。
- (2) 千葉県協同組合提携推進協議会を通じて、協同組合の理念・活動を社会的にアピールしていきます。
- (3) 次世代を担う大学生が、協同組合の価値や歴史、その社会課題解決の取り組みなどを知る機会として、「国際協同組合年記念千葉大学公開寄附講座」へ参加協力します。
- (4) 千葉県労働者福祉協議会、日本赤十字社千葉県支部、千葉県社会福祉協議会、千葉市社会福祉協議会などと交流を進めます。

重点課題5

生協の事業と活動の継続・発展を支えるため、民主的かつ効率的な組織運営および県連職員の業務品質の向上に取り組めます。

(1) 機関会議および主要会議の取り組み

- ①総会は法令および定款、規約の定めるところにより、円滑な運営を進めます。

るにより、円滑な運営を進めます。

- ②理事会は状況に応じ、引き続き対面とオンラインを併用して開催します。
- ③県と共催する役員研修会を開催します。
- ④会員生協の政策検討への支援として、政策検討会を開催します。

(2) 委員会、部会などの取り組み

- ①会員生協相互の情報交換や学びを目的として、地域まちづくり委員会、食・消費者委員会を開催します。
- ②事業活動、課題の情報交換や交流を目的に、職域生協部会、地域生協部会を開催します。
- ③災害時に関係団体と円滑に連携し、必要な対応が進められるよう、大規模災害対策協議会を開催します。
- ④実行委員会は、理事会で確認された企画を実行するために、必要に応じて組織します。

(3) 組織基盤の強化に向けた取り組み

- ①千葉県生協連の活動を担う職員の業務品質の向上と効率化に向け、業務手順の整理と共有化を進めます。
- ②環境問題や子育て支援、貧困・格差などの社会的課題や会員生協の事業に関連する課題に対し、職員の教育研修の機会を増やし、県連の活動につなげます。
- ③職員一人一人の成長と職員同士の学び合い・助け合いを促進する職場運営・マネジメントを進めます。

※1 コープSDGs 行動宣言

「持続可能な開発目標 (SDGs)」について、生協もその一端を担うべく、取り組みを通じてその実現に貢献することを約束する行動宣言

※2 地域共生社会

地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源がつながる社会

※3 重層的支援体制整備事業

厚生労働省が進める、複合・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の整備を支援する事業

※4 高齢者孤立化防止プロジェクト「SSK」

千葉県が推進する高齢者孤立化防止プロジェクト。SSKは、「しない・させない・孤立化」の頭文字

※5 消費者基本計画

消費者基本法第9条の規定に基づき、政府が消費者政策の計画的な推進を図るため、1長期的に講ずべき消費者政策の大綱、2消費者政策の計画的な推進を図るために必要な事項について定めた消費者政策の推進に関する基本的な計画

※6 食品衛生監視指導計画

食品衛生法第24条の規定に基づき毎年度作成するもので、都道府県などがこの計画に従い食品衛生に関する監視指導を実施する。

※7 九都県市合同防災訓練

埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市の九都県市が合同でおこなう防災訓練

※8 バイオマス発電所

木材や農産物の廃棄物、家畜の排泄物、一般家庭から出る可燃ごみなどの生物資源を直接燃やしたり、ガス状の成分に変換(ガス化)して燃やしたりしてタービンを回し、発電機を稼働させて電気を作る発電所

※9 再生可能エネルギー

太陽光、風力その他非化石エネルギー源のうち、エネルギー源として持続的に利用することができるものと認められるものとして政令で定めるもの

※10 Z世代

1990年代半ばから2010年序盤生まれの年齢層の若者。日本ではゆとり世代の次の世代として、デジタルネイティブ世代とも呼ばれる。

※11 ダイバーシティ

多様性。特定の人々を性別や人種などの生まれ持った属性でくくり、それを保護することではなく、一人ひとりが持っている違いを認め、尊重しようということ

※12 ローカルSDGs

地域で環境・社会・経済の課題を同時解決する事業を生み出していくこと

※13 ウクライナ支援「お茶しませんか」プロジェクト

侵攻により避難されてきたウクライナの方々のための茶話会。千葉県内の諸団体が協力し、心を癒す場所を提供

※14 フードドライブ

家庭で使いきれない未使用の食品を持ち寄り、まとめてフードバンク団体や、地域の福祉施設、子ども食堂などに寄贈する活動のこと

※15 核兵器禁止条約

核兵器の開発や製造、保有、それに使用を国際法で禁じることを定める核兵器禁止条約

※16 適格消費者団体

不特定かつ多数の消費者の利益を擁護するために差止請求権を行使するために必要な適格性を有する消費者団体として内閣総理大臣の認定を受けた法人

※17 日本協同組合連携機構(JCA)

日本の協同組合の連携機構。協同組合の健全な発展と持続可能な地域のよりよいくらし・仕事づくりを目的に、協同組合を横断したわが国唯一の常設の法人組織として発足した組織

※18 国際協同組合年記念千葉大学公開寄附講座

国際協同組合年(IYC)を記念し結成された全国協議会が開講する寄附講座

※19 南海トラフ地震

東海から九州まで東西およそ700キロに及ぶ南海トラフに沿って発生する巨大地震。おおむね100年から150年の周期で、マグニチュード8クラスの巨大地震が発生している

※20 相対的貧困率

一定基準(貧困線)を下回る等価可処分所得しか得ていない者の割合。等価可処分所得とは、世帯の可処分所得(収入から税金や社会保険料等を除いた手取り収入)を、世帯人数で調整した金額。

※21 老年化指数

年少人口(15歳未満の人口)に対する老年人口(65歳以上の人口)の割合(百分率)

※22 キャッシュレス決済

紙幣や硬貨を使用せず、クレジットカードや電子マネーを利用した電子決済。

※23 DX(デジタルトランスフォーメーション)

デジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること。既存の価値観や枠組みを根底から覆すような革新的なイノベーションをもたらすもの

※24 平和首長会議

広島・長崎両市が提唱した「核兵器廃絶に向けての都市連帯推進計画」の趣旨に賛同する世界各国の都市で構成された組織

※ 25 食料・農業・農村基本法

国土や環境の保護など、生産以外で農業や農村の持つ役割を高めること、食料自給率を高めることなどを目的として制定された法律

※ 26 人権デューデリジェンス

企業活動における人権リスクを抑える取り組み。企業活動において強制労働やハラスメント等の人権リスクや人権に対する負の影響がないかを特定し、そのリスクを分析・評価して適切な対策を策定・実施すること

※ 27 国際協同組合同盟 (ICA)

International Co-operative Alliance。世界各国の協同組合が加盟する国際組織。国連に登録された世界最大の NGO (非政府組織)

※ 28 協同組合のアイデンティティ

国際協同組合同盟 (ICA) が 1995 年に採択した「協同組合のアイデンティティに関する ICA 声明」を指し、協同組合の定義・価値・原則を定めたもの

※ 29 千葉県高齢者を地域で支えるネットワーク会議

住民団体、医療・福祉関係団体、民間企業、行政等の連携により高齢者を支える体制づくりを推進することで、高齢者が安心して暮らせる地域社会

※ 30 リスクコミュニケーション

消費者、事業者、行政担当者などの関係者間で情報や意見をお互いに交換しようというもの

※ 31 エシカル消費

地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のこと

※ 32 核兵器不拡散条約 (NPT) 再検討会議

5 年に 1 度、核不拡散条約 (NPT) の運用状況を検討するために開かれ、NPT の実効性を高めるための最終文書の全会一致の採択を目的とする会議

※ 33 ヤングケアラー

本来は大人がやるべき家事や家族の世話 (ケア) を日常的に行っている 18 歳未満の子ども

※ 34 ジェンダー

社会的性別。「男性はこうあるべき」「女性はこうするべき」という社会の中でつくられたイメージや役割分担

※ 35 LGBTQ

レズビアン (女性同性愛者) ゲイ (男性同性愛者) バイセクシュアル (両性愛者) トランスジェンダー (心と体の性が一致していない方) に加えて、自分の性がわからないという「クエスチョニング」と性的少数者を表す「クィア」の Q を加えた、セクシュアルマイノリティ全般を表す言葉

※ 36 千葉県協同組合提携推進協議会

千葉県内の農林漁協と生協で構成する協議会。県内の協同組合の提携を推進し、組合員の生活安定、協同組合の社会的地位の向上などを図ることを目的とする。

※ 37 災害支援ネットワークちば (CVOAD)

千葉県内において災害時の民間による支援活動を効果的かつ協働して行うために発足した団体。

※ 38 消費者安全確保地域協議会、見守りネットワーク

消費者安全法改正により設置が規定された。高齢者、障がい者、認知症等により判断力が不十分となった方の消費者被害を防ぐため、地方公共団体及び地域の関係者が連携して見守り活動をおこなう

Ⅱ 2024年度収支予算

【1】2024年度収支予算案

自2024年4月1日 至2025年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	23年度実績	前年度比 (%)	経費科目	金 額	23年度実績	前年度比 (%)
I. 事業収入				役員報酬	9,500,000	9,624,003	98.7
会費収入	47,900,000	47,925,000	99.9	職員給与	12,500,000	14,781,190	84.6
II. 事業経費				福利厚生費	5,000,000	5,008,508	99.8
人件費	28,297,000	30,710,807	92.1	退職給付費用	1,297,000	1,297,106	100.0
物件費	19,115,000	16,178,172	118.2	人件費計	28,297,000	30,710,807	92.1
合 計	47,412,000	46,888,979	101.1	通信交通費	1,100,000	924,913	118.9
事業剰余金	488,000	1,036,021	47.1	調査研究費	500,000	257,845	193.9
III. 事業外収入				広報費	1,200,000	1,061,150	113.1
受取利息	9,000	7,848	114.7	会議費	3,000,000	2,368,527	126.7
雑収入	82,000	18,642	439.9	賃借料	5,028,000	5,027,618	100.0
合 計	91,000	26,490	343.5	渉外費	570,000	493,534	115.5
IV. 事業外費用				教育文化費	1,800,000	588,820	305.7
雑損失	0	1,000	0.0	消耗品費	800,000	754,677	106.0
経常剰余金	579,000	1,061,511	54.5	諸会費	1,663,000	1,601,025	103.9
当期税引前剰余金	579,000	1,061,511	54.5	水道光熱費	700,000	299,826	233.5
				減価償却費	4,000	4,176	95.8
				雑費	350,000	228,736	153.0
				寄附金	0	196,033	0.0
				租税公課	0	0	0
				業務委託費	2,400,000	2,371,292	101.2
				物件費計	19,115,000	16,178,172	118.2
				経費合計	47,412,000	46,888,979	101.1

第68回通常総会にて、理事の年間報酬額を1,200万円以内で提案し、承認されました。
2024年度の役員報酬予算は、この上限額以内です。

1. 提案の内容

定款第19条および役員選任規約第5条に基づき、以下の役員候補者（理事2名）を役員として選任することを提案いたします。

2. 役員選任の経過

- (1) 2024年3月26日に開催した第6回理事会において、役員選任規約実施細則第3条に基づき、千葉県生協連第75回通常総会における役員補充選任に関する公告の件について議決をしました。
- (2) 2024年4月1日に役員選任規約実施細則第3条に基づき、「千葉県生協連第75回通常総会における役員補充選任に関する公告」をおこない、4月1日～4月20日までの期間で申出を受け付けたところ、分野区分理事として2名のお申出をいただきました。
- (3) 役員選任規約第5条に基づき、4月23日に開催した役員推薦委員会に於いて、推薦すべき候補者について選考をおこない、選考結果を会長理事に報告しました。
- (4) 5月23日開催の第7回理事会において、第75回通常総会第3号議案として提案することを確認しました。

3. 役員候補者

役員名	氏名	所属生協名	
理事	青木 英二	千葉商科大学生活協同組合専務理事	新任
理事	柴崎 智彦	千葉大学生生活協同組合専務理事候補	新任

【注記】役職名は2024年5月16日時点のものです。

本議案における決議の本旨に反しない範囲での字句の修正は理事会にご一任ください。

定款変更の件

1. 提案の内容

定款第18条「役員の定数」について、監事「3名以上5名以内」を「2名以上5名以内」に変更することを提案いたします。

2. 提案の趣旨

現在の監事の人数が3名であることから、不測の事態が発生した時に監事が欠員にならないよう定数の下限を3名から2名に変更いたします。

3. 新旧対照表(改訂箇所の条文抜粋)

変更 定款	現行 定款
～前略～	～前略～
(役員の定数)	(役員の定数)
第18条 この連合会に次の役員をおく	第18条 この連合会に次の役員をおく
理 事 10名以上 15名以内	理 事 10名以上 15名以内
監 事 <u>2名以上</u> 5名以内	監 事 3名以上 5名以内
附則	附則
～中略～	～中略～
1. この定款は平成28年7月25日から施行する。	1. この定款は平成28年7月25日から施行する。
2. この定款は令和3年6月22日から施行する。	2. この定款は令和3年6月22日から施行する。
<u>3. この定款は令和6年6月20日から施行する。</u>	

本議案における決議の本旨に反しない範囲での字句の修正は理事会にご一任ください。

<付属資料>

■地域生協の市町村別加入状況一覧

■2023年度 会員生協概況表

地域生協の市町村別加入率（2024年3月31日現在）

人口・世帯数は2024年4月1日現在（千葉県毎月常住人口調査より）

市町村名	総人口	世帯数	なのはな	パルシステム
県計	6,270,470	2,889,768	10,584	265,134
不明			0	0
その他			1,972	2,664
合計	6,270,470	2,889,768	12,556	267,798
中央区	216,766	116,287	542	8,435
花見川区	177,359	85,009	381	7,185
稲毛区	160,008	77,751	342	7,026
若葉区	144,855	66,682	249	5,410
緑区	129,007	52,977	354	6,396
美浜区	153,914	71,864	303	6,338
千葉市合計	981,909	470,570	2,171	40,790
銚子市	53,741	25,084		985
市川市	498,654	251,988	1,930	21,659
船橋市	647,319	302,345	1,242	27,073
館山市	43,097	20,389		1,883
木更津市	136,827	61,432	107	4,491
松戸市	498,344	241,015	711	21,415
野田市	152,053	66,418		20,544
茂原市	84,695	38,273	71	2,921
成田市	133,354	63,553	359	3,770
佐倉市	164,695	71,841	417	6,445
東金市	56,838	26,086	53	2,360
旭市	61,198	25,034		1,722
習志野市	175,966	82,128	407	7,816
柏市	434,462	198,819	468	20,005
勝浦市	15,468	7,686		165
市原市	263,402	121,127	226	8,645
流山市	211,795	90,024	262	11,393
八千代市	203,851	91,039	237	8,060
我孫子市	130,018	59,088	172	6,989
鴨川市	30,290	14,474		656
鎌ヶ谷市	109,631	49,464	159	4,256

コープみらい	生活クラブ	組合員合計	2020 加入率 (%)	2021 加入率 (%)	2022 加入率 (%)
911,336	43,402	10,390,694	42.50	42.50	359.57
188	0	188			
5,583	461	10,680			
917,107	43,863	10,401,562	42.90	42.98	359.94
30,385	1,049	40,411	34.88	34.91	34.75
32,042	1,359	40,967	48.28	48.22	48.19
24,916	1,881	34,165	44.37	44.19	43.94
25,976	1,367	33,002	49.54	49.57	49.49
18,375	832	25,957	48.83	49.02	49.00
19,389	2,258	28,288	39.84	39.62	39.36
151,083	8,746	202,790	43.33	43.27	43.09
8,198	38	9,221	36.63	36.64	36.76
59,250	1,961	84,800	33.24	33.41	33.65
103,395	3,219	134,929	44.60	44.53	44.63
6,618	80	8,581	40.96	41.58	42.09
18,263	772	23,633	38.49	38.63	38.47
69,824	3,686	95,636	39.51	39.53	39.68
13,313	1,100	34,957	53.15	52.77	52.63
12,408	319	15,719	40.65	40.66	41.07
17,323	632	22,084	35.48	35.29	34.75
23,873	2,172	32,907	46.08	45.89	45.81
8,244	219	10,876	42.12	41.60	41.69
7,763	79	9,564	38.47	38.22	38.20
24,604	1,065	33,892	41.45	41.44	41.27
45,598	4,696	70,767	35.53	35.20	35.59
3,515	51	3,731	45.41	47.05	48.54
38,264	1,451	48,586	39.50	39.87	40.11
40,458	2,832	54,945	60.16	60.20	61.03
39,213	1,312	48,822	54.01	53.85	53.63
13,876	1,199	22,236	37.96	37.81	37.63
5,755	115	6,526	43.46	43.74	45.09
26,439	615	31,469	62.19	62.91	63.62

市町村名	総人口	世帯数	なのはな	パルシステム
君津市	79,032	35,424	18	1,982
富津市	39,710	17,605		705
浦安市	172,056	83,963	487	8,107
四街道市	94,857	40,427	169	3,409
袖ヶ浦市	65,040	26,996	44	2,160
八街市	65,573	28,968	97	2,085
印西市	108,364	41,760	169	5,865
白井市	61,615	25,096	91	2,757
富里市	49,435	23,113	148	1,383
南房総市	33,187	14,464		932
匝瑳市	32,958	13,104		900
香取市	68,062	27,796	18	1,358
山武市	46,068	19,629	35	1,538
いすみ市	33,378	14,415	4	379
大網白里市	47,083	20,215	100	2,193
酒々井町	20,152	9,428	100	718
栄町	19,534	8,470	56	645
神崎町	5,558	2,346	37	103
多古町	12,813	5,052	4	225
東庄町	12,362	4,715		292
九十九里町	13,436	6,057	8	430
芝山町	6,602	2,509		151
横芝光町	20,943	8,374		650
一宮町	11,913	5,242		478
睦沢町	6,388	2,495		218
長生村	13,155	5,616		470
白子町	9,721	4,209		330
長柄町	6,250	2,502	7	204
長南町	6,641	2,591		204
大多喜町	8,143	3,328		11
御宿町	6,510	3,071		13
鋸南町	6,324	2,911		196
千葉市外合計	5,288,561	2,419,198	8,413	224,344

※不明：住所不明

※その他：県外組合員

コープみらい	生活クラブ	組合員合計	2020 加入率 (%)	2021 加入率 (%)	2022 加入率 (%)
13,379	309	15,688	43.91	44.16	44.29
6,865	98	7,668	42.76	43.31	43.56
16,231	1,842	26,667	32.58	31.95	31.76
16,928	752	21,258	52.86	52.70	52.58
11,206	343	13,753	50.54	50.74	50.94
8,774	232	11,188	38.85	38.53	38.62
14,368	1,421	21,823	51.81	52.21	52.26
9,489	669	13,006	52.25	52.16	51.82
5,923	167	7,621	33.77	33.51	32.97
5,764	107	6,803	45.54	46.03	47.03
4,768	57	5,725	44.59	44.43	43.69
10,957	20	12,353	44.28	44.61	44.44
7,420	97	9,090	47.04	46.65	46.31
6,199	152	6,734	44.84	45.71	46.72
6,522	200	9,015	44.17	44.09	44.60
2,458	104	3,380	37.09	36.84	35.85
3,321	133	4,155	47.87	48.70	49.06
1,017	4	1,161	47.25	48.56	49.49
1,921	15	2,165	42.77	43.18	42.85
1,907	2	2,201	46.75	46.47	46.68
2,132	22	2,592	41.52	41.84	42.79
923	12	1,086	42.37	41.85	43.28
3,109	16	3,775	44.85	45.00	45.08
1,701	67	2,246	41.62	42.76	42.85
1,031	22	1,271	48.61	50.52	50.94
1,952	30	2,452	42.67	43.16	43.66
1,524	13	1,867	42.07	42.87	44.36
1,005	21	1,237	49.12	49.38	49.44
1,119	8	1,331	49.35	50.69	51.37
1,549	34	1,594	47.00	46.73	47.90
1,330	72	1,415	44.85	45.35	46.08
1,267	2	1,465	50.37	50.00	50.33
760,253	34,656	1,027,666	42.34	42.35	42.48

2023年度 会員生協概況表

千葉県生活協同組合連合会

生協名		組合員数			総供給高 (千円)		
		22年度	23年度	前年同期比	22年度	23年度	前年同期比
地域	な の は な	12,736	12,556	98.6	1,992,220	1,997,905	100.3
	パルシステム	264,665	267,798	101.2	34,294,711	34,478,062	100.5
	コープみらい	901,476	916,019	101.6	101,981,462	103,544,351	101.5
	生活クラブ	44,017	43,863	99.7	8,944,751	8,884,708	99.3
	地域計	1,222,894	1,240,236	101.4	147,213,144	148,905,026	101.1
	千葉県庁	14,935	14,734	98.7	281,244	299,685	106.6
	千葉商大	4,679	4,864	104.0	162,367	154,717	95.3
	千葉大学	12,522	12,315	98.3	1,286,295	1,287,442	100.1
	東邦大	4,082	3,774	92.5	296,522	281,630	95.0
	学 校	41,745	41,537	99.5	454,274	413,004	90.9
	ちば住宅コープ	12,051	12,248	101.6	258,000	282,044	109.3
	高齢者生協	533	532	99.8	100,702	112,677	111.9
	職域・専門計	90,547	90,004	99.4	2,839,404	2,831,199	99.7
総合計		1,313,441	1,330,240	101.3	150,052,548	151,736,225	101.1
準会員	生協名	組合員数	県内組合員数	県内比率	総供給高	県内供給高	県内比率
	東都生協	260,500	1,452	0.56	32,209,165	148,380	0.46
	常総生協	5,729	728	12.7	892,525	171,073	19.2

※コープみらいは千葉県内の数字です

作成日 2024年5月2日

出資金高 (千円)			組合員一人当たり月利用高(円)			組合員一人当たり出資金(円)		
22年度	23年度	前年 同期比	22年度	23年度	前年 同期比	22年度	23年度	前年 同期比
816,112	813,975	99.7	13,151	13,166	100.1	64,079	64,828	101.2
10,274,608	10,470,570	101.9	10,917	10,792	98.9	38,821	39,099	100.7
23,475,748	23,760,184	101.2	9,493	9,495	100.0	26,041	25,939	99.6
4,152,314	4,214,521	101.5	16,866	16,850	99.9	94,334	96,084	101.9
38,718,782	39,259,250	101.4	10,107	10,076	99.7	31,662	31,655	100.0
292,852	281,752	96.2	1,557	1,683	108.2	19,608	19,123	97.5
91,707	95,433	104.1	2,948	2,702	91.7	19,600	19,620	100.1
175,122	170,736	97.5	8,537	8,639	101.2	13,985	13,864	99.1
59,386	56,510	95.2	5,743	5,975	104.0	14,548	14,974	102.9
206,682	189,788	91.8	908	827	91.1	4,951	4,569	92.3
60,555	61,540	101.6	1,798	1,935	107.6	5,025	5,024	100.0
2,031	1,997	98.3	15,540	17,633	113.5	3,811	3,754	98.5
888,335	857,756	96.6	2,609	2,613	100.2	9,811	9,530	97.1
39,607,117	40,117,006	101.3	9,585	9,566	99.8	30,155	30,158	100.0
出資金高	組合員一人当たり出資金(円)		こくみん共済 coop 千葉推進本部 2023年5月末組合員数 398,560名					
6,661,800	25,573							
336,249	58,692							